

Green Brave

10th Anniversary

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup 第5戦、第6戦



2022年11月19日(土)~20日(日)
岡山国際サーキット(岡山県美作市)

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

第5戦で吉田選手が初優勝。ランキング3位を獲得

岡山ラウンドは今季唯一の2レース制。GBドライバーの吉田選手と86GBキャンプの地頭所選手は金曜日の専有走行で1位と3位のタイムをマーク。前戦に引き続き好調をキープしています。

土曜日の天候は晴。プロフェッショナルシリーズの予選(15分間)は10時20分にスタート。ベストタイム順で第5戦、セカンドベストタイム順で第6戦のグリッドが決まるため、最低2回の計測ラップが必要です。予選開始の合図とともに吉田、地頭所選手の順にコースイン。吉田選手は2周目に1分45秒302、3周目に1分46秒128をマークし、第5戦のポールポジション(予選1位)を獲得。第6戦は予選5位につけました。地頭所選手は2周目に1分45秒589、3周目に1分46秒550をマーク。第5戦は予選9位、第6戦は13位からのスタートに。第5戦の決勝は14時50分から行われ、吉田選手がトップで1コーナーへ。序盤にファステストラップをマークし、後続との差を広げる作戦にトライしており、狙い通り2周目にファステストラップを獲得。2位の#504 富林選手との間に1秒3のリードを築きます。貴重な貯金を得た吉田選手は、クルマとタイヤをいたわりながら後続とのギャップをコントロール。一時は#504 富林選手にコンマ4秒差まで詰め寄られますが、危なげない走りでポールトゥウィン達成。吉田選手にとってもチームにとっても初めての優勝を記録しました。一方、地頭所選手は1つ順位を上げ、8位で1周目を終了。5周目にS耐の富士24時間で一緒に戦った服部選手に抜かれますが、翌周に抜き返し、さらに8周目には#80 伊東選手も抜いて6位に上がります。しかし12周目、地頭所選手のGR86にトラブルが発生し、ストップ。29位完走となりました。ミッションの交換はできないため、第6戦の出場は取りやめに。

日曜日の天候は曇。第6戦は11時05分から行われ、5番グリッドから優勝を目指した吉田選手はスタート直後に痛恨のシフトミス。1周目に10位までポジションを落とします。ポジションを回復するため、必死の追い上げを見せる吉田選手ですが、同一タイヤを使用するライバルを抜くのに時間がかかり、トップグループまで届かず。予選順位と同じ5位まで順位を戻したところでチェッカー。ランキングは自己最高位の3位となりました。



#160 埼玉トヨペット GB BS GR86

吉田 広樹

第5戦 **決勝1位**

予選1位(1分45秒302)

※ポールポジション

第6戦 **決勝5位**

予選5位(1分46秒128)

■第5戦：展開的にもポイント的にもいいレース運びができたと思います。チームからファステストをとれたと言われたので、後ろが接近した時だけブッシュして走っていました。普通にレースするより、タイヤを温存できたと思います。ミッションをゆっくり変速したり、縁石を越えないに走ったり、クルマをいたわりながら走っていました。

■第6戦：2速に入れるところで失敗し、抜かれてしまいました。それがすべての原因だと思います。そのあと、ぼくの前にいたのが同じブリヂストンタイヤを履く中山選手と元嶋選手。2人を抜くのに時間がかかってしまいました。そのあととほとんど抜けて、順位を上げられたので、スタートさえ決まればペースはあったのかなと思います。



#522 GB CAMP BS GR86

地頭所 光 (86GB CAMP)

第5戦 **決勝29位**

予選9位(1分45秒589)

第6戦 **出走せず**

予選13位(1分46秒550)

■第5戦：レース序盤のバトルは良く、OTG勢に揉まれつつ、順位を上げていました。6位に上がったあとのロング走行もすごく速く、すぐに前の選手に追いつきましたが、あと1周というところでミッションにトラブルが発生。止まってしまいました。残念でしたが、抜いていった選手が「いい追い上げ、走りができていた」と言ってくれたので、そこは自信を持って終わったかなと思います。明日は走れないので、これが最後のレースになってしまいました。13番手からトップ10を目指したかったのですが、これもレースですね。

■第6戦：
出走せず

MECHANIC VOICE

【武蔵藤沢支店・鹿田尋稀】

吉田選手が優勝でき、すごくうれしいです。慣れない慣れない環境で慣れないことをする。それが一番大変でした。ぼくたちは普段、ジャッキを使用して整備することではなく、リフトで整備しています。そこが慣れずに大変でした。でも、みんないい人ばかりで楽しく仕事させてもらいました。迅速な整備と先を見据えた優先順位のつけ方、それは店舗の仕事でも活きると思います。

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup
プロフェッショナルシリーズ ポイントランキング

順位	ゼッケン	ドライバー名	ポイント
1位	#504	富林勇佑	58
2位	#7	堤 優威	55
3位	#160	吉田広樹	50
4位	#80	伊東黎明	46
5位	#123	松井孝允	42
6位	#10	菅波冬悟	32

トップ6まで



PARTNERS



有限会社アイ・ディ・アイ



EMG ルブリカンツ合同会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 FM NACK5



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼群スリーボンド株式会社



株式会社デンソーソリューション



株式会社ドーム



トヨタモビリティパーツ株式会社



富士フィルムビジネスソリューションジャパン株式会社



ファクトリーギア株式会社



株式会社ブリヂストン



丸和工業株式会社



株式会社リビコー



レカロ株式会社